

## 堆肥化講座（一次処理）での質疑応答

### 【三重県のごみ排出量について】

Q：三重県のごみ排出量1113 gに産業廃棄物は含まれていますか？

A：産業廃棄物は含まれていません。一般廃棄物の家庭系ごみと事業系ごみです。

### 【衣装ケースの加工について】

Q：ドリルが家に無いのですが、どうすればよいですか？

A：ドリルを持っている人と何人かでグループを作って、取り組んでもらってはどうですか。

Q：通気口は、蓋ではなくケースの横に空けた方が、雨水が入らなくて良いのでは？

A：ケースの横でも構わないが、蓋に空けた方が水蒸気がスムーズに排出されます。

Q：衣装ケースの加工が大変でとてもできそうに無い。

県が推奨しているのなら、業者等に話して既製品を作ってもらえないか？

A：県は推奨しているわけではなく、色々な方法の中の一つとして説明をしています。生ごみの減量、堆肥化については、それぞれのご家庭に合った方法で取り組んでいただきたい。

Q. 通気口（直径30mm）3つと排水口（直径30mm）1つと言われたが、排水口は2つあってもよいか。

A. 排水口は1カ所で十分です。

Q. 工具箱の蓋をくりぬいた後にポリカーボネイトを直接蓋に張り付けてもよいか。

A. 張り付けてもかまわないが、工具箱とポリカーボネイトの劣化の年数が異なるので、取り外しが出来る様にしておくと、再利用することが可能です。

Q. 底が浅く細長い透明な衣装ケース（単価500円程度の物）でも良いか。

A. 一次処理は可能ですが、耐久性は工具箱などに比べるとかなり悪くなります。

### 【床材作りについて】

Q：壁土が手に入らないが、代わりに身近にある畑の土でもいいのか？

A：壁土の入手が困難と言うことであれば、畑の土を代わりに利用することも可能です。

Q：床材作りに利用する落ち葉について、庭で切った松の葉を利用してもいいのか？又、枝は除いた方がいいのか？

A：松の葉を大量に利用するのではなく、いろいろな種類の落ち葉を利用してください。また、広葉樹と針葉樹の割合は7：3が目安となります。

床材を作る場合は、枝などは入れないようにしてください。

Q：米ぬかはどこで手にはいるのか？

A：コイン精米所やJAの精米所で入手することができます。

Q. 床材作りにかかる籾殻、米ぬかなどの比率は厳密にするべきか。

A. 厳密に籾殻、米ぬか、土、落ち葉などを計るのは難しいと思いますが、バケツを利用して基本の比率からかけ離れない程度の比率で混合してください。

Q. 床材を発酵させる時にビニールシートを掛けても良いか。

A. ビニールシートは通気性が悪いので、通気性のある毛布などを利用してください。

#### 【生ごみの処理について】

Q：魚のアラは入れていいのか？

A：最初は小魚や焼き魚などを入れて、魚を好む微生物を増やします。その後「はらわた」も入れることができますが、4～5日間は少し臭いがします。その場合は、上から床材をかけてください。また、生魚は一度熱湯を通すと臭いが少なくなります。

Q：肥料になるまでの日数はどのくらいですか？

A：家庭の状況にもよりますが、一次処理から完熟堆肥を作るのに約半年ぐらいかかります。

Q：野菜づくりでうまく作れなかったカボチャを丸ごと処理できるのか。処理する場合は細かく切った方がいいのか？

A：衣装ケースに投入できるのは、1日三角コーナー一杯分程度なので、大量に一次処理するのであれば、複数の一次処理用のケースが必要となります。また、カボチャを丸ごと入れるよりは、細かく切った方がいいです。

Q：スイカの皮を入れる場合は、細かく切った方がいいですか？

A：細かく切って入れてください。また、水分が多いようであれば床材を追加してください。

水分が多いと腐敗の原因となるので注意してください。

Q：生ごみを埋めたら、スイカ等の芽がでてきたのですが？

A：土に生ごみを埋めただけでは、スイカの種は生きているので芽が出てきます。一次処理・二次処理をして完熟堆肥にすれば、芽は出なくなります。

Q：生ごみが大量にある場合、ケース2つに交互にいれていくのと、ケース2つに半分ずつ入れていくのでは、どちらがよいか？

A：ケースに投入できるのは、1日に三角コーナ一杯分程度なので、ケース内の水分状況などを見て、入れる生ごみの量を調節してください。また、水分が多いようであれば、生ごみの投入を一時的に止めるか、床材を追加して水分調整を行ってください。

Q. 虫が発生しないようにするにはどうしたらよいか。

A. 生ごみの水分を良く切って、ケース内を乾燥気味に管理してください。

Q. 塩気のある物を入れても良いか。

A. 通常の食事で残った物を入れる程度であれば問題はありませんが、漬け物などを大量に入れしないでください。

Q. 腐った物を入れても良いか。

A. 腐った物は、入れないでください。

Q. このケースに食べ残しを入れても良いか。

A. 食べ残しや調理屑を入れてください。ただ、食べ残しの中には、堆肥化に適さない物が混入していることがありますので、注意してください。

Q. 一度に多量の生ごみを入れても良いか。

A. ケースへの投入量は、一日あたり三角コーナ一杯を目安として投入してください。生ごみの量が多い場合は、ケースを複数用意して投入する方法もあります。

Q. 床材は、生ごみを投入するたびにを入れるのか。

A. 毎回、床材を投入する必要はありません。